



佐々木中学校だより

TEL : 0254-27-2505

E-mail : sasaki-jhs@inet-shibata.or.jp

URL : <http://sasaki-j.shibata.ed.jp>

教育目標

よく考え、進んで
実践する生徒

努力について

校長 星 和富（全校朝会から）

皆さんは「努力」について考えたことがありますか。今日の話は、「努力」についてです。NHKで「経済学で考える。人生は運か努力か？」という番組が放映されました。番組では、アメリカの経済学者が行った思考実験を紹介しました。実験は、努力や才能が98%、運が2%勝敗に影響するなら、参加者10万人のトーナメント戦で最も実力のある人が、優勝する確率はどのくらいかというものでした。結果は、約22%でした。この番組では、幾つか例を挙げ、運が結果に大きく影響することを説明していました。例えば、参加者2人のマラソン大会なら、当然、実力のある方が勝ちます。しかし、参加者一千万人を超えるマラソン大会になると、人数が増え、力も僅差になるので実力だけでは決まらず、気候などが影響し、勝負が決まります。つまり、競争が激しくなるほど、結果は運次第と解説していました。しかし、この番組は「人生において、今までの成功は運が良かったが、これからの成功は自分の努力次第。」と考えたほうが良いとも話していました。

この番組が示すとおり、運は重要なものです。それを掴むには、実力が必要です。運は皆さんに平等に回ってきます。その運を掴むには、毎日の努力で実力を高めなくてははいけません。例えていえば、運は自分の頭の上の高いところで回っていて、自分が高まらないと運を掴めないというイメージです。

天才作曲家“ベートーベン”は「**努力した者が成功するとは限らない。しかし成功する者は皆努力している。**」と結果を出すためには、努力が不可欠だと言っています。

天才発明家の“エジソン”は「**天才とはインスピレーションではない。インスピレーションは、まず汗をかき努力することで生まれる。**」と努力の重要性を言っています。

また、テレビでおなじみの“林 修”さんは「**正しい場所で、正しい方向を向いて、十分な量なされた努力は裏切らない。**」と努力の仕方を言っています。

皆さんには、目標を定め、計画を立て、見通しをもち、粘り強く取り組む姿勢、つまり正しく努力する姿勢を身に付け、充実した幸せな人生を送ってほしいと願っています。毎日の学校生活で友達と仲良く学習していく中で、主体的な態度を身に付ければ、正しく努力できるようになると思います。皆さんが日々努力する姿を期待しています。

下越地区陸上大会結果

各競技の下越地区大会に先立ち陸上競技の下越地区大会が行われました。

地震の影響で2日目が1日順延となりました。今回の大会で4名の生徒が8位入賞を果たし、県大会にコマを進めました。



○ 3年	S さん	男子四種競技	3 位	記録	1699 点
		男子 110mH	4 位	記録	16.66 秒
○ 3年	I さん	女子四種競技	1 位	記録	2422 点
		女子砲丸投	7 位	記録	9 m37cm
○ 3年	K さん	女子走り高跳	7 位	記録	1 m30cm
○ 3年	M さん	女子 100mH	8 位	記録	17.52 秒

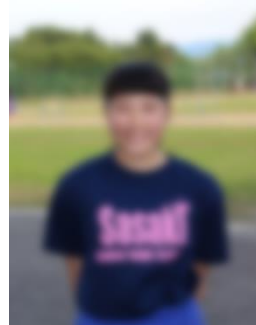
3年 S さん



3年 I さん



3年 K さん



3年 M さん



県大会に向けて

【3年 S さん】(男子 110mハードル、男子四種競技)

今回の大会では、110mハードルと四種競技共に良い記録でした。ハードルは自己ベストと同じ記録でした。四種は、前の大会の記録より 400 点ぐらい上がっていてとても良かったです。砲丸投げと走り高跳びは練習より記録が出なかったのが悔しかったです。

400mは去年より 4.5 秒記録が上がっていて、とても嬉しかったです。

県大会では、110mハードルと四種競技、どちらも自己ベスト記録を出します。110mハードルは 15 秒台、砲丸投げは 8 m、走り高跳びは 145 c m、400mは 59 秒台、四種競技の合計点は 1,800 点以上出します。

残り数週間で自分を追い込み、悔いのない記録、結果にします。限界を決めずに最後まで全力でやります。

【3年 I さん】(女子四種競技、女子砲丸投げ)

皆さんは四種競技を知っていますか？ 多分あまり知らない人が多いと思います。私も一年の頃はあまり分かっていませんでした。そのくらいマイナーですが、四種目をやりこなさなければ出来ない、とても大変な競技です。「じゃあ、なんでやっているの？」と聞かれることも多いですが、あきやすい私にすれば最高の種目なのです。

私は、今回の地区大会での優勝に浮かれず、後残り少ない期間を気を抜かず練習を行いたいです。そして、今参考の記録ですが、県一位の記録なので、県大会ではそのままトップを保ち優勝したいです。出場だけで終わらせないためにも二日間全力で走って跳んで投げてきます。

女子四種競技の種目は次の四つです。 ①100mハードル ②走り高跳 ③砲丸投 ④200m
--

【3年 K さん】(女子走り高跳び)

私は、今回の大会で県大会出場を決めることができましたが、反省点がいくつかありました。

1つは、記録が自己ベストよりもだいぶ低かったことです。いつもなら跳べている高さを思うように跳べず、悔しい結果になってしまいました。

また、気持ちの面でも少し弱くなっている自分がいました。他の人が一本目で跳んでいく中で「なんで私は跳べないんだろう。」と自信を持てなくなっていました。

この様に今回の大会は、悔しい部分もたくさんあり、心から喜ぶことができませんでした。だから県大会までの残りの時間は、今回の反省点を改善できるように練習に励んでいこうと思います。そして県大会では、自信を持って競技に臨み、自己ベストを出したいです。県大に会行けなかった人の分も頑張ろうと思います。

【3年 M さん】(女子100mハードル)

800mで颯太さんが走る前、みんなで応援するためにテントから出て、走るのを待っている時でした。顧問の家合先生が、サングラスをかけ無表情で歩いてきました。部長に用があるのだと思っていたら、私の前に来て、いきなり「おめでとう！」一瞬なんの事か分かりませんでした。嬉しさと驚きが同時に来ました。決勝に行くためには、予選で2着+2（各組2着以内。そして3着以降の選手全てで、タイムが2位以内）に入らないといけないのに、私は4番目にゴールし、プラス2に入れるわけがないと思っていたからです。

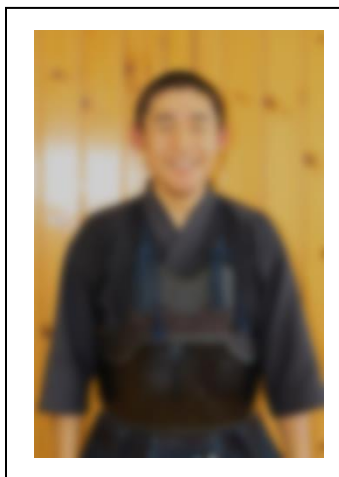
嬉しさと調子に乗って練習をおろそかにしないよう、しっかり部活動のメニューをこなして練習をするときは、私が課題としているハードル10台を全力で、3歩で走れるように頑張ります。

この地区大会では8位でした。県大会では地区大会7位の人にも勝てるよう、自己新が出せるよう全力を尽くします。

地区大会へ

陸上競技を除く各競技の下越地区大会が6月28日（金）、29日（土）に各会場で行われます。剣道部、柔道部の部長から大会に向けての意気込みを紹介します。

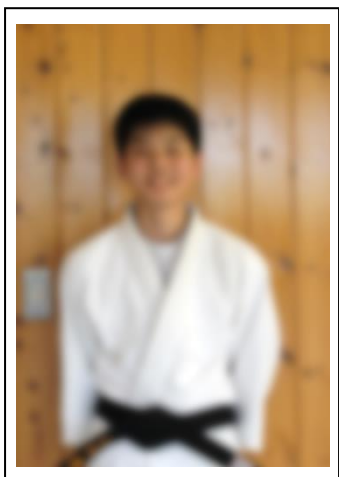
【剣道部部長 3年 I さん】



今年は、市内大会が無く、下越地区大会から大会が始まります。この大会に向けて厳しい練習にも耐え、お互いにアドバイスをし合い、技術を身に付けてきました。そして、念願の新入部員の加入により、より一層稽古に熱が入りました。

本番当日では、ここまでの稽古の成果や自分の力を最大まで発揮できるように、試合をしている人だけでなく、見ている人も全力で応援するなど、部員全員で一致団結して勝利を勝ち取りたいと思います。そして、何よりもここまでどんな時も、支えてくれた家族や指導してくださった先生方に感謝し、一緒に稽古をしてきた仲間を信じて戦ってきます。**“目指せ 全員県大会出場！！”**

【柔道部部長 3年 N さん】



僕は、今回の大会は今までに無く緊張しています。当たり前ですが、最後の大会になるかもしれないからです。この2年間、僕はつらい練習にもひたむきに、真剣に取り組んできました。

今年の柔道部の活動目標は「礼儀・団結・勝利」です。これには、柔道部全員の思いが込められています。

1つ目の礼儀は、「試合前の礼や、大会・練習会でのきちんとした礼儀ができること」、2つ目の団結力は、「互いに励まし合い、部員が一丸となること」、3つ目の勝利は、「共に練習してきた仲間と成果を出すこと」です。

柔道は、勝ち負けのつくものです。泣いても笑っても3年生にとって最後の大会です。2年間頑張ってきた成果を十分に発揮してきたいと思います。そして柔道部の活動目標も達成したいです。

剣道の会場は、阿賀野市の水原総合体育館です。柔道の会場は、胎内市のふれすぽ胎内です。共に1日目が団体戦、2日目が個人戦です。

練習の成果を十二分に発揮してほしいと思います。ファイト佐中！！